

ファンがつくる 金沢競馬をもっと楽しむ情報誌

協力：金沢ホースマンクラブ
協賛：金沢競馬振興協議会
発行者：遊駿 + 編集部

遊馬々 plus

無料

ご自由にお持ちください

www.kanazawakeiba.com

今年も

金沢競馬場に

ニューフェイスが

登場!

オレに言わせろ

今年の金沢競馬はどうなる?

2015

チューモク! 金沢競馬

2015年 4月

vol. **30**

※ご意見、ご感想をお寄せください
宛先 E-Mail: yushun.plus@gmail.com
FAX: 050-050-7524-3862
<http://sites.google.com/site/yushunplus/>

チューモク! 金沢競馬

バンク」。額の星が印象的な栗毛の四歳牝馬で、改めて見るとなかなかの美人さんです。

ステイバンクは昨年の三月に中央競馬でデビュー。主に一八〇〇m以上の中長距離を使われ続けたもののデビューから五戦連続二ケタ着順に終わり、十一月に金沢競馬へ移籍してきました。

四〇〇キロに満たない小柄な身体の彼女。中央競馬では厳しい戦いを強いられてきましたが、そこまで大型馬が多くない金沢においてその血を目覚めさせつつあります。

金沢のデビュー戦は、十一月九日。結果は六着だったものの、その後三着を挟んで十二月二十一日、金沢三戦目にしてはやくも念願の初勝利を挙げました。

ステイゴールド産駒と言えば気性が荒い、少し危ない馬が多いなどと言われていますが、このステイバンクは「普段は素直で大人しい馬」(菅原調教師)とのこと。確かに取材に訪れたときも、写真を撮っている間は大人しく立ち尽くしていました。

こうやって見ると、なんだか可愛い年頃の女の子と言った雰囲気も感じられます。

しかし、レースとなると大人しさは一変し、ステイゴールド産駒らしい気持ちの強い所を見せるこの事。取材中も、ふとした拍子にその片鱗を覗かせていましたが、オンとオフの切換が上手なのでしょう。



ここ二戦の好成績は、いずれも逃げ・先行での物。ライバルに前を譲らない持ち前の気持ちの強さがよく表れた走りのように見えました。

「これだけの血統だから三勝を挙げて中央に戻し、無事繁殖に上げたいねえ」とは菅原調教師の言葉。

小柄な体で苦戦するでしょうが、初勝利からの走りを見れば今年中にあと二勝を挙げられる可能性は高いように見えます。

それまでの間、金沢競馬唯一の「ステマ配合」の馬としてファンを楽しませてほしい所です。

ステイバンクはC2クラス、午前中のレースに出走する事が多いので積極的に「見よう!」と思わない限りなかなか見る機会がないでしょうが、小さな体で頑張る彼女にぜひ注目してほしいです。

メインレースだけが金沢競馬ではありません。自分自身の一推しの馬を探しましょう!

読者勝手コラム



つづいて

ヘンシューチョー

今年から中日杯が一九〇〇mに短縮となります。スタミナよりもスピード優先の時代の流れや大レースが長距離に偏りすぎているから当然、と色々な意見もあるでしょう。

しかし、この事により金沢競馬は新たな時代に入ったと言ってもいいでしょう。一九〇〇mの重賞ができた事により一三〇〇mから二六〇〇mまで三歳以上の馬が走る全ての距離に重賞が設定されると言う恐ろしくバラエティに富んだ番組を抱える競馬場になります。中央競馬でも一つの競馬場にここまでバラエティに富む重賞の番組を設定する事もなかなかないと思われれます。

しかし、どうせここまでするのなら、と思います。施行可能な距離で重賞に設定されていないレースが一つだけあります。それもやったら非常に面白い事になるのではないかなあと。

その距離は新馬戦で施行される九〇〇m。この距離の重賞、と言わなくても三歳以上のレースがあったら色々面白いのではないかなと思います。

そんな短距離のレースなんか、とお思いの方もいらっしゃるでしょうが、二〇一一年より複数の競馬場の一〇〇〇m以下のレースで構成される「スーパースプリントシリーズ」と言うシリーズ競走も行われていて、好評を得ているようです。

もっとも、このシリーズの中に東海北陸交流の「名古屋で馬スプリント」(八〇〇m)が名古屋にあるので同地区の金沢でする必要はないとも言えます。しかし、こので馬への出走権を賭けての代表選考レースって形でもいいとは思いますが。

他の競馬場で姿を消しつつある長距離の重賞。それを残してスタミナ自慢の異能を発掘するのは大切です。しかし、超短距離馬と言うこれまた異能を発掘するのも大切な事です。これだけ多様な番組を抱える競馬場、馬だつて異能や個性派と言った多様な馬を抱える必要はあると思います。

そのためにも更なる多様な番組を。予想はしにくくなりますがファンは様々なレースを見られますからきつと盛り上がりができるようになると思います。

金沢競馬場から全国の競馬ファンが驚くような異才の登場を期待しています。その為にも驚くような番組を期待します。

今年金沢競馬は どいうなるか?

毎年恒例、ヘンシューチョーが好き勝手に叫びます。当たるも八卦当たらぬも八卦、今年の金沢競馬を大胆予想!

▼三歳編

昨年度は年度初めに移籍してきたケージキンカメが東海ダービーを制覇し、同世代の地元馬には無敗さらに北國王冠と中日杯も制覇という圧倒的な強さを見せました。

今年はそのような怪物は見られない上に昨年の二歳重賞を二勝したアロマベールが南関東に移籍。残りの重賞を制したエムティサラはその勝利後の成績は結果が出ずと中心のいない群雄割拠となりそう。

そんな中で昨年度末から今年度にかけて三歳A級を連勝したハタノソルプレーザが引っ張って行きそう。中央競馬でのデビュー戦では武豊騎手を背に十六頭中の四番人気と期待された馬(十一着でしたが)。ここにいよいよ本領発揮となるか注目。

もう一頭注目したいのが二歳時は未勝利だった物の三歳になって連勝を記録したゴールドバンカー。こちらは平瀬騎手に乗り替わってからの連勝でほぼ手が合うと言うべきか。運命の人と出会ったと言うべきか。このコンビ二はなおも注目です。

▼古馬編

昨年は三歳のケージキンカメに制圧された感のある金沢競馬の古馬戦線。と、言う事は今年もケージキンカメが圧倒的な力を見せて終わってしまうのか。いや、まだあの馬との勝負付けは終わっていません。と、言うか対戦もまだな彼がいます。

その名はそう、ナムラダイキチ。昨年は復帰戦を飾り百万石賞を快勝しやはり金沢の大將は彼しかいない!と誰もが思った矢先の故障。ダイキチ不在の中でケージキンカメが暴れ回った構図になっていました。ここは金沢の総大將として黙っている訳には行きません。

今年の百万石賞で三連覇と金沢のトップの座の防衛を狙って行くか。



今からこの二強の対決が楽しみです。

そして、忘れてはいけません。今年九歳になるジャングルスマイル。古豪、と言うネーミングがびつたりくる存在となっていますが、まだまだ消える訳にはいきません。

ダイキチ不在の北國王冠、中日杯ではケージキンカメに迫る二着。相手が誰であれきつちりとマークをして結果を残すその脚に衰えは見られません。

ありそうでなかったこの三頭のそろい踏み。今年一度でいいから見てもたいその姿をファンは期待しています。まずは、全馬無事に過ごして行ってほしいです。

馬券にお役立ち?

ミニデータルーム



・百万石賞

この五年間で勝ち馬がジャングルスマイル三連覇の後にナムラダイキチが連覇しているの二頭しかいません。ケージキンカメが五年間で三頭目の勝ち馬となるかダイキチが三連覇かそれとも?

・中日杯

今年から距離が二三〇〇mから一九〇〇mへと短縮。五一回の伝統を誇る中日杯で初の距離短縮となります。これでスタミナ自慢の長距離馬だけではなく中距離馬も出られる

ようになり、面白いレースが展開されるようになる、かな?

・ジャングルスマイル

その中日杯に過去四回出走して全部二着と言う不思議な記録を持つジャングルスマイル。同じ距離の百万石賞は三連覇しているのに。寒いのが苦手なのか、ただめぐりあわせが悪いのか。今年、五度目の出走はあるのか。この距離短縮がどう出るのか、そして、念願の制覇なるか?

編集後記

今年もどうか今年度の最初の号を出す事ができました。いちおう「開幕号」と呼んでいます。最早開幕とは程遠い時期の発行になってしまっているのはご愛嬌です。

今年には新人騎手が二名も誕生する事を筆頭に非常に金沢競馬にとって話題に富んだ一年になりそうです。その割には初っ端からネタに窮しながらの作成になったような気がしますが、これもまあ、ご愛嬌です。

話題と言えばアノことも忘れてはいけません。そう、北陸新幹線の新金沢開業です。JBCの時に東京方面から遠征してきたファンが口々に「遠い!」と言っていました。その問題も解消されてますます関東方面からのファンの遠征が増えるかもしれません。

逆に金沢から東京競馬場や中山競

・賞金増額

百万石賞、北國王冠、中日杯の三レースは本年より一着賞金が五〇万円増額され三五〇万円となります。二歳重賞と四大競走の白山大賞典以外の重賞の一着賞金が同額だった。でこの増額は当然と言う所。これで賞金が上がれば上がるほど俄然張り切るあの騎手やこの厩舎が...今からその辺りの傾向と対策をしておいた方がいいかもしれませんね。

馬場、あるいは新潟競馬場への遠征もしやすくなったでしょう。

結果、ファンは取り込みながらも逃さない。そんな欲張りな事をしたいといけない時代になったとも言えます。その為にも魅力的な番組、迫力のレース、地方らしい温かみのあるサービスなどなどやらないといけない事は色々あるでしょう。

金沢にある競馬場はここだけです。それを生かして来ていただいたファンをがっちりとかささないサービスを提供する。私達地元ファンも明らかに慣れていない人や困っている人を見かけたなら声をかけ、手助けをするくらいの事は出来るはず。

今年の金沢競馬は何度目か分かりませんがある意味正念場なのかもしれません。事業局もファンも一緒に金沢競馬のサービスを向上させて全国に金沢競馬のファンを作って行きましょう!



去年の開幕号でも使ったタイトルを、まさか今年も使う事になるうとは思っていませんでした。昨年度、十年振りに中島龍也騎手が金沢競馬でデビューし、四十二勝を挙げてリーディング九位に入る活躍を見せました。

そんな活躍の記憶も新しい中、今年も金沢競馬に新人騎手がデビューしました。しかも、二人！どうした金沢競馬！！デビュー戦の様子を交えて、さっそく紹介しましょう。

栗原大河（くりはらたいが）騎手

群馬県高崎市出身の十九歳、菅原欣也厩舎所属。



教養センターの修了レース（接骨木遊駿）では僅差二着に入ったり、後輩とのサッカー大会で活躍

して優秀賞を獲得したりとその騎乗センスや身体能力には教養センター時代より定評があった様子。

デビュー戦は開幕日の第二レース。騎乗するドラゴングレイスはスタートから後方に下がり、コーナーを周る頃には単騎で最後方。向こう正面ではさらに離されて一頭ぼつんと追走。スタンド前の直線に入る所でもまだ最後方。

観衆の注目が先頭争いに注がれる中、直線の入口で最後方だったドラゴングレイスは栗原騎手に導かれて一気に加速。前に行く馬を次々と交わして四着に入線。八頭中の六番人気がながらも人気を上回る着順でデビュー戦を終えました。

その後、その日一日で四回騎乗機会がありました。この四着が最高で馬券圏内には届きませんでした。が、四月十二日の六レースで一ファン人気のゴールドシオンに騎乗して、



見事に初勝利を収めました。おめでとうございます！

柴田勇真（しばたゆうま）騎手

神奈川県横浜市出身の二十一歳。佐藤俊之厩舎所属。ちなみに全国の新人ジョッキーの中で一番の年長者。



デビュー当日、垂れ幕まで作ってのご家族の大声援が印象的。地元ファンと一緒に必死の声援を送っていました。

こちらのデビュー戦は開幕日の第一レース。四番人気で五着と悔しい結果に終わりましたが、ハイライトは九レース。九頭中の三番人気と上位人気のゴールドクラウスに騎乗。

スタートから後方でレースを進め、向こう正面に入る頃には最後方から前を虎視眈々と狙いながら追走。

最後のコーナーから前に進出開始。一気のロングスパートで次々と前に行く馬を交わし、スタンド前の

直線で上位争いに加わり、最後は突き離れたものの、人気通りの三着に入線。馬券圏内に入り、さっそくファンに貢献してくれました（ヘンシューチョーも助かりました）。

そして、四月十四日の第十一レースで三番人気のブラッシーに騎乗して見事に初勝利を挙げました。三連単は万馬券で、こちらも大いにファンに貢献してくれました。おめでとうございます！



公式の資料では得意戦法を「先行」とした二人。初勝利はいずれも先行からの抜けだしでの勝利でやはり得意なだけはあるなと言った所。

この調子で昨年新人ながらも大活躍をした中島騎手のような活躍を二人には見せてほしいです。

そして、ファンにお返しをして信頼を勝ち取ってください。

頑張れ、栗原騎手、中島騎手！

今年は金沢で！
スーパードラゴングレイス
トライアルニッポン
ワイルドカード開催！！

今年の八月に、JRAの札幌競馬場で行われる国際騎手招待レースである「二〇一五ワイルドオールスタージョッキーズ」競走に出場する為の予選、「スーパードラゴングレイストライアル」が今年は金沢で開催される事になりました。

トライアルと言う事で、これに勝てばJRAの舞台で世界の強豪とすぐ戦うことができる…訳ではなく。金沢のワイルドカードを突破した騎手は改めて大井での第一ステージ、園田での第二ステージを突破して本戦への切符を掴めると言う厳しい物。ちなみに地方代表は全国でたったの一人です。

しかしながら、この金沢のレースから、普通ならば競走どころか一緒に走る事すら叶いそうにない世界の一流ジョッキーや、中央の一流ジョッキーと勝負ができる可能性があります。まさに騎手にとっては夢のようなレースと言えます。

五月二十六日、中央と世界への切符を賭けての初めの一步がここ金沢で行われます。

各地の腕自慢の共演を見逃すな！

そして、もちろん地元金沢の騎手が突破する事を切に願います。がんばれ、金沢競馬！